

事業所名

☆（すたあと）

支援プログラム

法人（事業所）理念		☆（すたあと）。スタートとは出発や物事を始める、合図の言葉という意味があります。そんな“きっかけ”をコンセプトにしています。新しいことを始めたいけど、踏み出す勇気が湧かない。誰かに頼るのはちょっと…自分のやりたいことが見つからなくて悩んでいる…人を変えられるのは「人」とだと思います。“きっかけ”は何でもOK！人と人との出会いを大切に、信頼できるパートナーを目指し、利用児（者）様を笑顔にしたいと考えています☺
支援方針		”見たい” “知りたい” “やってみたい” の意欲を大切に自発性・主体性を伸ばしていく事 まずは利用児（者）の気持ちを受け止め、見守り、認めてあげる。 助けてあげたい気持ちをグッとこらえ見守ることで 1つずつ考え、身に付けていくことで自信を持ち、成長に向かっていくと考えています。
		支 援 内 容
五 領 域	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓や衣服の着脱・食事・排せつ等、生活に必要なスキルの向上 ・クッキングを取り入れ一緒に作る・食べる・片付けをする ・病気の予防（手洗い・うがい・歯磨き） ・危険な遊び方、避難訓練や災害時の訓練や対応の仕方 ・タイムスケジュールの中で生活のリズムを身に付ける
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となる姿勢の保持や運動や筋力の維持、強化・動作の改善や取得を体操やダンススポーツを通して学ぶ ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用出来るようにゲームやクイズを取り入れる ・感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を行う（感覚過敏や鈍麻）
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックや立体の創造物を使った創作活動 ・物の機能や属性、形、色、音 等、概念の形成を図り認知や行動の手がかりになるように支援する ・情報を適切に処理できるようサポートを行い認知の偏りや個々の特性に配慮する ・音楽やリズムを使って五感を刺激する活動 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や、適切行動への対応支援
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・指差し、身振り、サイン等を用いて意思の伝達の支援を行う ・生活の中で起こる事柄についてロールプレイングを取り入れ、場面におけるコミュニケーション能力の向上 ・考えを発表したりプレゼンテーションを取り入れ、具体的な物事や体験と言葉の意味の結びつけることで言語の取得、自発的な発声を促す ・話し言葉や文字、記号を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたり、言語を受容し表出する支援を行う
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや模擬店等、遊びを通して物事を最後までやり遂げる達成感を得る ・職員や友達と関係を深め、喜び・悲しみや感情を共感し合い愛情や思いやりを身に付ける ・病気の予防（手洗い・うがい・歯磨き） ・危険な遊び方、避難訓練や災害時の訓練や対応の仕方 ・タイムスケジュールの中で生活のリズムを身に付ける